

ハンドマイク街頭演説原稿例

ウクライナ問題・物価高騰対策

二〇二二年四月二十一日 日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

みなさん、ウクライナでは、連日、多くの市民や子どもたちが命を落とっています。痛ましい事態を目にして、言葉にできないほどの悲しみと憤りを強く感じます。憲法9条をもつ日本が今すべきことは、ウクライナへの非軍事、民生支援に徹し、何百万人ものクライナ難民を受け入れている隣国への支援に本腰を入れることではないでしょうか。みなさん、日本からも「ロシアは侵略やめよ。国連憲章を守れ」の声をこいつしよに広げましょう。日本共産党はウクライナへの支援募金にも取り組んでいます。ぜひご協力ください。

さてみなさん、ロシア軍の無法な軍事行動を見て、「日本は大丈夫か」と心配の声が寄せられています。当然の不安だと思います。この不安に乗じて、「憲法9条では日本は守れない」とおとりたてる人たちがいます。ですが、「軍事、核兵器、力の論理」で来る相手に、同じことに対抗しようとすれば、果てしない軍事拡大の悪循環におちいり、万が一、軍事衝突が始まれば、結局は日本国民に多くの犠牲者がでることになります。自民党は、「敵基地攻撃能力の保有」や「防衛費のGDP2%」などの提言をまとめています。このような軍事拡大の政治では、東アジアの緊張を高めるだけでなく、国民生活にも甚大な影響を与えます。軍事力では、平和は築けない。数々の戦争の真実です。日本が力を尽くすべきは、憲法9条を生かした平和外交を徹底的に行い、ASEANのように東アジア地域でも戦争を起こさない平和の枠組みづくりに本腰を入れることです。その外交努力を徹底的に行ってもなお、万が一、日本が軍事攻撃を受けるなどの主権侵害が起こった場合にどうするか。日本共産党は、個別的自衛権の行使として、自衛隊を含めたあらゆる手段を使って、国民の命と日本の主権を守りぬきます。憲法9条を生かした平和外交の実現へ、岸田自公政権の暴走を阻止するために全力をつくします。

みなさん、急激な物価高騰や長引くコロナ禍で多くの国民が苦しんでいます。政治の力で一刻も早く国民生活を支えていくことが必要です。日本共産党国会議員団は「コロナ危機と物価高騰からくらしと営業を守る緊急の経済対策」を政府に申し入れました。消費税の5%引き下げ、ガソリン税の軽減やトリガー条項発動を含むガソリン価格引き下げ、困窮者への給付金拡大や学校給食費の無償化、年金の減額ストップ、最低賃金を1500円に引き上げなどを求めています。この間の物価高騰は、ウクライナ危機やコロナ禍の影響もありますが、異次元の金融緩和の推進で株価を引き上げ、物価上昇をめざした「アベノミクス」の破綻がその深刻さに拍車をかけています。今後の参議院選挙では、新自由主義の経済政策を転換し、「やさしく強い経済」の実現をめざす日本共産党を大きく伸ばしてください。ご支援をよろしく願います。

最後になりますが、気候危機、ジェンダー平等など多彩な記事満載の「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いいたします。この場所をお借りして日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。(了)